

留 学 報 告 書

記入日:2019年6月13日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: シェフィールド大学 現地言語: The University of Sheffield
留学期間	2018年9月～2019年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	政治学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月11日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月下旬 2学期:2月上旬～6月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	28,974人
創立年	1905年

留学費用項目	現地通貨 (GBP)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	6,400GBP	87万円	
食費	730GBP	10万円	
図書費	72GBP	1万円	
学用品費	36GBP	5000円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	21GBP	3000円	
医療費	0	0円	
保険費	393GBP	5万4千円	形態:留学用保険
渡航旅費	2,620GBP	36万円	
雑費	72GBP	1万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	10,360GBP	141万2千円	

渡航関連

渡航経路: 東京→ロンドン (空路)

渡航費用

チケットの種類	ノーマル航空券
往路	18万円
復路	18万円
合計	36万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JAL 日本航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学の紹介

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シェフィールド大学のエンドクリフ寮はキャンパスにも近く、周囲に自然公園などもあり、オススメです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生用の相談窓口があります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

何らかの事件に巻き込まれたことは全くありませんでしたが、ネットの情報やイギリスに長期滞在したことがある友人から現地の治安状況について情報収集しました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内のネット環境は非常に快適でしたが、寮のネットは不安定でした。そのため、論文をまとめる際には、図書館に行っていました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金を 150 ポンド程持って行きましたが、支払いはほとんどクレジットカードで済ませていました。1年ほどの留学ならば、銀行口座の開設は不必要だと思います。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特にありません。勉強から娯楽まで、必要なものはほとんど現地で揃えることができます。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

自衛隊の地方協力本部から資料請求しました。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

現時点では、自衛隊への就職を希望しています。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学前から自衛隊への就職を希望していました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Relations	国際関係学基礎
科目設置学部・研究科	政治学部
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Anastasia Shesterinina
授業内容	国際関係学の基礎について学びました。各種理論や現在の国際情勢とその問題点、各アクターの働きなどについてです。
試験・課題など	レポート提出が2回
感想を自由記入	国際政治を学ぶ上で重要な事柄を詳細に学習でき、発展的な内容に取り組む前段階として最適です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
British Politics		イギリス政治学	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	春学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Amy Smith		
授業内容	イギリス政治が内包する問題点や特徴について学びました。		
試験・課題など	レポート提出、プレゼンテーション		
感想を自由記入	イギリス政治史上の様々な事件を取り上げながら授業を進めるため、非常に面白く、留学生にもわかりやすい授業となっています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Contemporary Security Challenges		現代安全保障学	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	春学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が1回		
担当教授	Ross Bellaby		
授業内容	1990年代以降の紛争や戦争の形態や問題点、人権問題について学びました。		
試験・課題など	レポート提出2回		
感想を自由記入	教授の説明が非常にわかりやすく、難解な授業内容でも簡単に理解できました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Contemporary International Relations Theory		現代国際関係論	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	秋学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が1回		
担当教授	Helen Turton		
授業内容	応用的な国際関係論を学ぶ授業で、様々な事例を参照しながら授業が行われます。		
試験・課題など	レポート提出2回、プレゼンテーション		
感想を自由記入	授業そのものは有益でしたが、内容が非常に難解であり、高度な英語力を要求されます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Contemporary US Foreign Policy		現代アメリカ外交関係学	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	秋学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が1回		
担当教授	Benedict Docherty		
授業内容	近現代の米国がどのように他国との関係を築いてきたのか、また、米国の外交政策の問題点等を学びました。		
試験・課題など	レポート提出2回		
感想を自由記入	イラク戦争やアフガニスタン侵攻の事例を研究することで、今後の米国の外交政策を理解する助けとなりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Political Theory in Practice		実践的政治理論	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	秋学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が1回		
担当教授	Alasdair Cochrane		
授業内容	現実主義や自由主義、構造主義など理論を通して現実に起きている問題を理解する授業です。		
試験・課題など	レポート提出2回		
感想を自由記入	これまで学んできた理論を通して人権問題や性差別などの問題に対する理解を深めることができました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	明治大学の留学制度についてリサーチ
4月～7月	協定校について調べ、イギリス留学を決める
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	書類選考、面接試験
2018年 1月～3月	シェフィールド大学留学が決定。出願準備を行う
4月～7月	7月にビザ取得
8月～9月	9月中旬に渡英 秋学期開始
10月～12月	11月にレポート提出 12月に冬季休暇
2019年 1月～3月	1月に期末試験 2月に春学期開始
4月～7月	4月にイースター休暇 5月に期末試験及びレポート提出 6月初旬帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校をアメリカで過ごしたため英語力には自信がありましたが、さらに学術的なレベルに高めるために留学を決意しました。また、安全保障や国際政治に対する興味もあったため、政治学の評判が高いシェフィールド大学に決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	当然のことながら、英語力は非常に大切だと思います。特に、シェフィールド大学では出席点などは一切評価されず、成績はレポートのみで決まります。そのため、読解能力と作文能力を高める必要がありました。また、私の場合、政治学部志望でしたから、留学前に希望する分野に関係する知識を深めることで、現地での難解な授業に対処していました。
この留学先を選んだ理由	シェフィールド大学は、国際政治や安全保障学の分野で評価が高く、政治学を学びたい私に適していると思い、志望しました。また、周囲を自然に囲まれた立地であり、落ち着いて生活できると感じたことも志望理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	学部棟がシェフィールドの中心部に点在しています。前述の通り、周囲に国立公園がある緑豊かな場所であり、同時に古きよきイングランドの街の雰囲気との調和が取れています。学生の人種は非常に多様で、様々な思想や文化を持つ人々と交流することができます。
寮の雰囲気	私はキッチンとトイレを6人でシェアするタイプの学生寮に暮らしていました。長期休暇や期末試験が終わった際に、パーティーをすることがありました。
交友関係	授業で知り合った人と時々昼食を食べたりすることはありましたが、なにより重要だったのが寮の友達です。洗濯機の使い方から様々な手続きの方法まで、寮生活で欠かせないことを教えてもらうことができました。
困ったこと、大変だったこと	レポート提出課題や期末試験が予想以上に厳しく、苦戦しました。特に、レポート課題を仕上げるために徹夜をすることもよくあり、課題の提出期間中は心身ともに疲れました。平日頃から、レポート用の文献をよく読んで、理解することが大切だと痛感しました。
学習内容・勉強について	授業中に学生同士で意見交換することがあり、指定された文献を前もって読んでおかないと話についていけません。また、レポート課題や期末試験を乗り越えるためには授業の内容を理解する必要があります。そのため、こまめな予習復習がなによりも大切だと言えます。
課題・試験について	前述の通り、レポート課題は要求される水準が極めて高く、明け方まで勉強したり、徹夜したりすることも頻繁にありました。非常に大変ですが、乗り越えた際の達成感も一入です。

大学外の活動について	大学のトレーニングジムに申し込み、試験期間以外はほとんど毎日通っていました。トレーニング仲間と交流することもでき、充実していました。
留学を志す人へ	留学する際になによりも大切となるのは、自分が外国人であると意識することです。何か問題が起きる度に「日本なら違うのに」と考えることは意味がありません。その国に適応していくことが重要であると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中				授業			
	授業	授業	トレーニング		授業	ランニング	一週間の復習
午後	予習復習	予習復習	授業	予習復習	予習復習		
	トレーニング	トレーニング	授業	トレーニング		トレーニング	月曜の授業の予習
夕刻	予習	予習	予習復習		トレーニング		
夜							